

## 指標 1 公共交通利用者数の増加

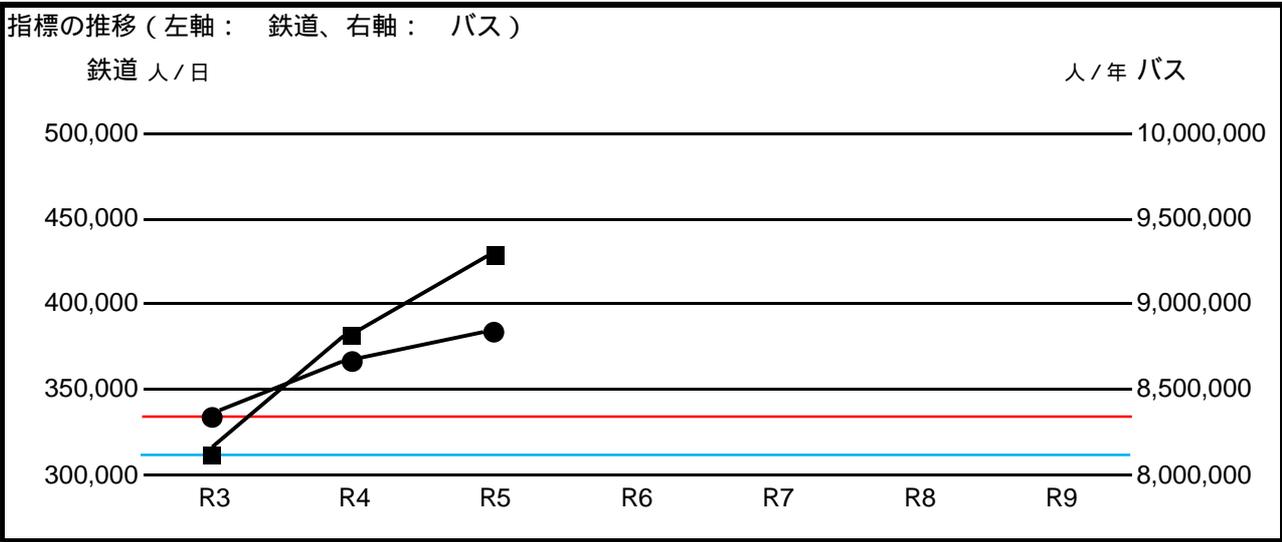
**評価の視点**  
 鉄道、路線バス、ところバス・ところワゴンの連携により、市全体の公共交通の利便性が向上しているか。

**評価の方法**  
 各公共交通事業者が公表する乗降者数の合計が、基準値に対して増加しているか。  
 「鉄道」は市内11駅の1日平均乗降人員の合計値とする。ただし、東所沢駅は乗車数の公表値を2倍して乗降者数に換算する。  
 「バス」は市内を発着又は経由する民間路線バス、ところバス・ところワゴンの1年あたりの利用者数の合計値とする。

**目標達成に向けた施策・取り組みの状況【令和5年度】**

- ・ところバス柳瀬コースの短縮・増発
- ・富岡地区ところワゴンの実証運行開始

	参考値	基準値		目標値				
	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
鉄道 (人/日)	424,360	334,000	367,781	383,784				基準値以上
バス (人/年)	10,743,201	8,118,000	8,808,842	9,260,899				基準値以上



評価結果【令和5年度】

<b>A</b>	<p><b>【評価コメント】</b>                  新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の激減から回復傾向であり、基準値以上とした目標を達成している。ただしコロナ禍前の人数には戻り切っていない。                  駅前の商業環境に大きな変化があるため、今後も利用者数の動向を注視する必要がある。</p>
----------	---

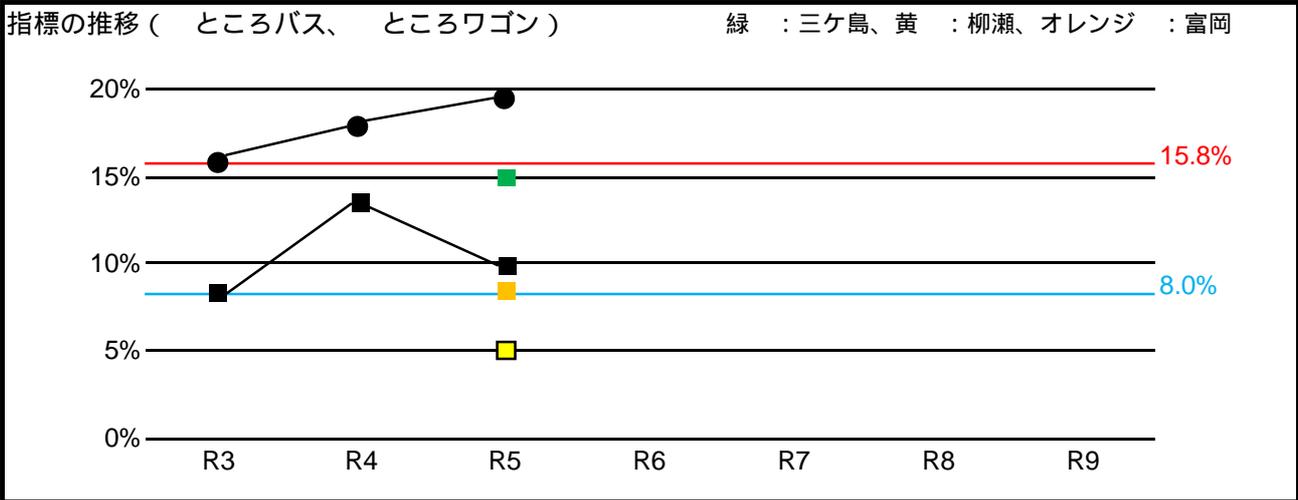
評価基準 A：目標を達成している / 順調に推移している B：施策・取り組みの継続が必要  
 C：新たな施策・取り組みが必要 D：大幅な方向修正が必要 / 目標値の見直しが必要

## 指標2 ところバス・ところワゴンの収支率の改善

<p>評価の視点</p> <p>市が公共交通に投入している公費に対して、投資の効果が得られているか。</p>
<p>評価の方法</p> <p>運行経費（車両等の購入・減価償却、停留所の設置・更新等の費用を除く）に対する、収入（運賃収入+広告収入）の割合である収支率が、改善しているか。 車両や設備の更新費は、更新時期の年度のみに大きく影響するため、経費から除いている。</p>
<p>目標達成に向けた施策・取り組みの状況【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域組織による利用促進の取り組み（三ヶ島地区）</li> <li>・ところバス柳瀬コースの短縮・増発</li> </ul>

基準値・現在値・目標値

	基準値			目標値			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
ところバス	15.8%	17.8%	19.3%				基準値以上
ところワゴン	8.0%	13.3%	9.8%				基準値以上



評価結果【令和5年度】

<b>B</b>	<p>【評価コメント】</p> <p>コロナ禍からの回復が見られ、ところバスの収支率は改善している。ところワゴンは、三ヶ島地区の収支率が上昇しているが、柳瀬地区での収支率を改善する取り組みを行う必要がある。また、燃料費の高騰の影響を受ける可能性もあるため、収入増加と運行の効率化を積極的に進められたい。</p>
----------	---

評価基準 A：目標を達成している / 順調に推移している B：施策・取り組みの継続が必要  
C：新たな施策・取り組みが必要 D：大幅な方向修正が必要 / 目標値の見直しが必要

### 指標3 公共交通カバー圏域の人口割合の増加

評価の視点

公共交通により、コンパクト・プラス・ネットワークの街づくりが進んでいるか。

評価の方法

公共交通利用圏内に居住する市民の割合が増加しているか。  
 鉄道駅から半径800m以内、またはバス停留所（ところワゴン停留所を含む。）から半径300m以内の区域を公共交通利用圏とする。  
 次の国勢調査が実施される令和7年度のカバー率が、令和2年度以上となることを目標とする。

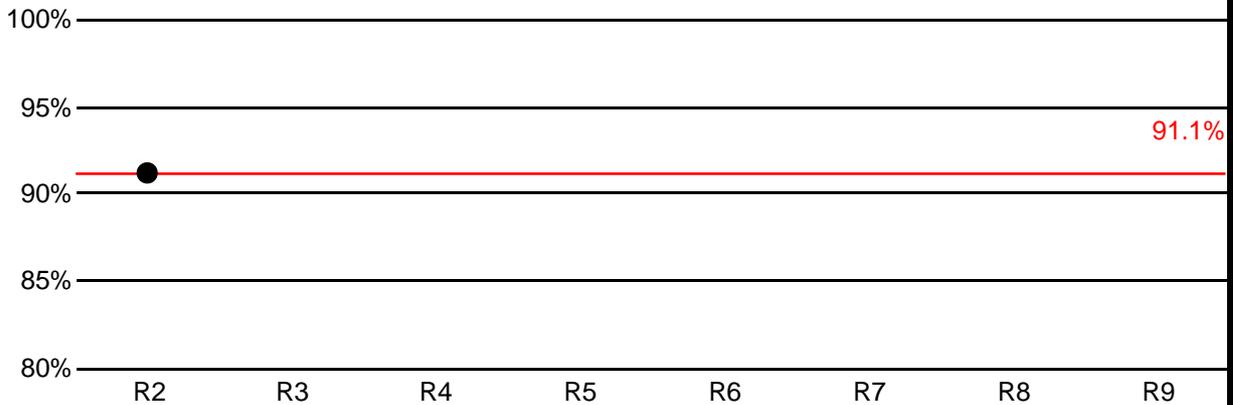
目標達成に向けた施策・取り組みの状況【令和5年度】

- ・ 富岡地区ところワゴンの実証運行開始  
     ネオポリス（下富）、花園の公共交通空白地の解消
- ・ 所沢市立地適正化計画の策定 コンパクトな街づくりへの誘導

基準値・現在値・目標値

人口 カバー率	基準値					目標値		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	91.1%	→				基準値以上		

指標の推移



評価結果【令和5年度】

	【評価コメント】
-	土地区画整理事業との連携などにより、人口が多い地域の交通空白地を解消することにより、カバー率の向上を図りたい。

評価基準    A：目標を達成している / 順調に推移している    B：施策・取り組みの継続が必要  
 C：新たな施策・取り組みが必要    D：大幅な方向修正が必要 / 目標値の見直しが必要

## 指標4 交通政策に対する満足度の向上

### 評価の視点

市民が、公共交通に関する取り組みを、暮らしの質の向上として実感できているか。

### 評価の方法

毎年度実施する所沢市市民意識調査における、交通政策に対する満足度が上昇しているか。  
「満足度」は、回答者全体を母数にして、交通政策に「満足」「やや満足」と回答した市民の割合で計算する。

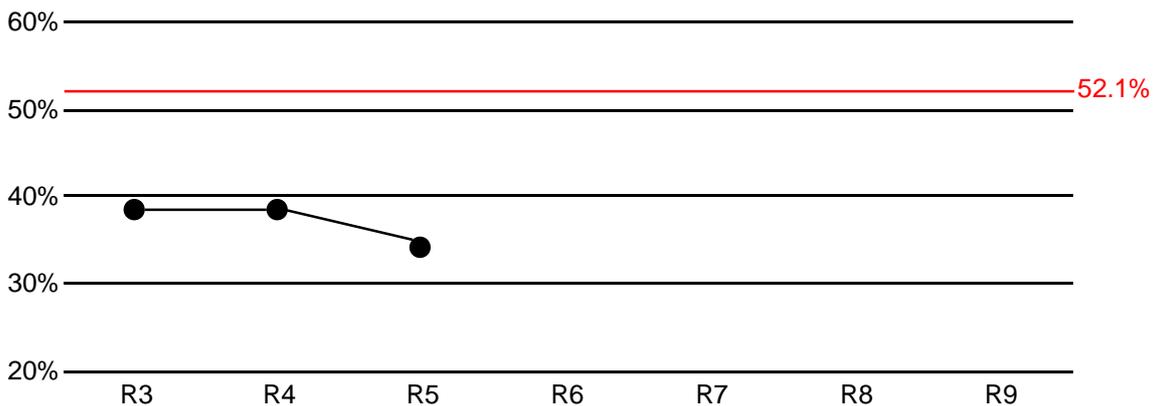
### 目標達成に向けた施策・取り組みの状況【令和5年度】

- ・武蔵野線50周年企画の実施（体験イベント開催、スタンプラリーによる沿線魅力PRなど）、および車内混雑時のマナーへの協力呼びかけ、1号車と8号車に設置のフリースペースの周知などを実施(JR)
- ・バス停留所付近のベンチの設置
- ・ところバス柳瀬コースの短縮・増発

### 基準値・現在値・目標値

交通政策の満足度	基準値			目標値			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
満足度	38.3%	38.3%	34.7%				52.1%
【参考】交通政策の要望度	19.2%	22.1%	27.6%				-

### 指標の推移



### 評価結果【令和5年度】

C

#### 【評価コメント】

交通政策に対する満足度は、令和3年度から低下した一方、要望度は徐々に上昇している。市民の声を丁寧に把握し、暮らしの質の向上を実感できる施策を実施する必要がある。

評価基準 A：目標を達成している / 順調に推移している B：施策・取り組みの継続が必要  
C：新たな施策・取り組みが必要 D：大幅な方向修正が必要 / 目標値の見直しが必要

## 指標5 モビリティ・マネジメント（MM）の実施回数の増加

評価の視点

自家用車から公共交通利用に転換する市民意識の醸成に向けて、具体的な取り組みを進めているか。

評価の方法

市民が公共交通を利用するきっかけや、その意識を持ってもらうための働きかけである「モビリティ・マネジメント（以下、「MM」）」の回数が増え、継続的に実施しているか。

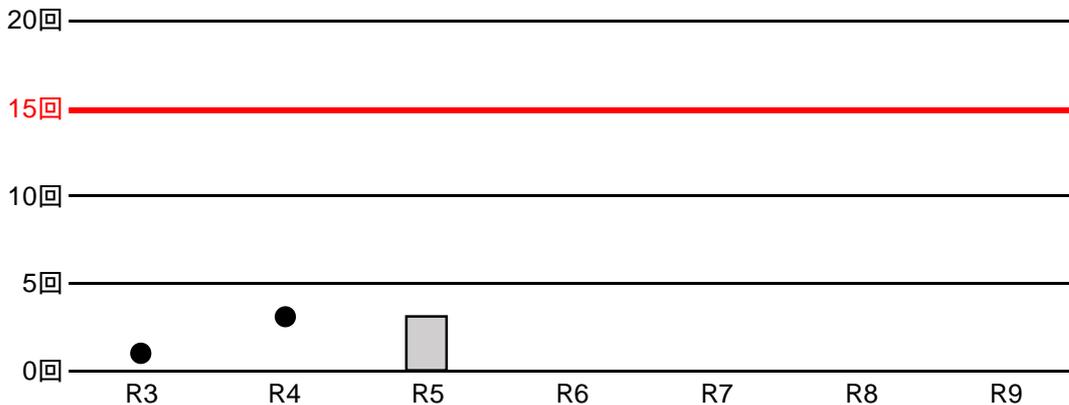
目標達成に向けた施策・取り組みの状況【令和5年度】

- ・ところバス・ところワゴンの路線、時刻をまとめた利用案内を作成
- ・令和5年5月に、富岡地区ところワゴンの出発式に合わせて、地域住民向けの体験乗車会を開催
- ・令和6年2月～3月に、J:COM所沢にて、ところワゴンに関する5分間番組を放送

基準値・現在値・目標値

MM実施 累計回数 ( )は当該 年度の回数	基準値			目標値			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	(1回)	(3回)	3回 (3回)				R5～R9 累計15回

指標の推移（ R5年度からR9年度までの累計）



【参考】

評価結果【令和5年度】

A

【評価コメント】

令和5年度には3回のMMを実施し、5か年で累計15回の実施に向けて順調に進んでいる。効果を高めるため、年齢層や地域などのターゲットを明確にしたMMの実施を求める。

評価基準 A：目標を達成している / 順調に推移している B：施策・取り組みの継続が必要  
C：新たな施策・取り組みが必要 D：大幅な方向修正が必要 / 目標値の見直しが必要

### 指標6 脱炭素に向けた環境に優しい車両の導入

評価の視点

公共交通分野において、脱炭素社会の実現に向けた具体的な取り組みを進めているか。

評価の方法

ところバス・ところワゴンへのEV（電気自動車）、FCV（燃料電池車）の導入台数が、基準値に対して増加しているか。

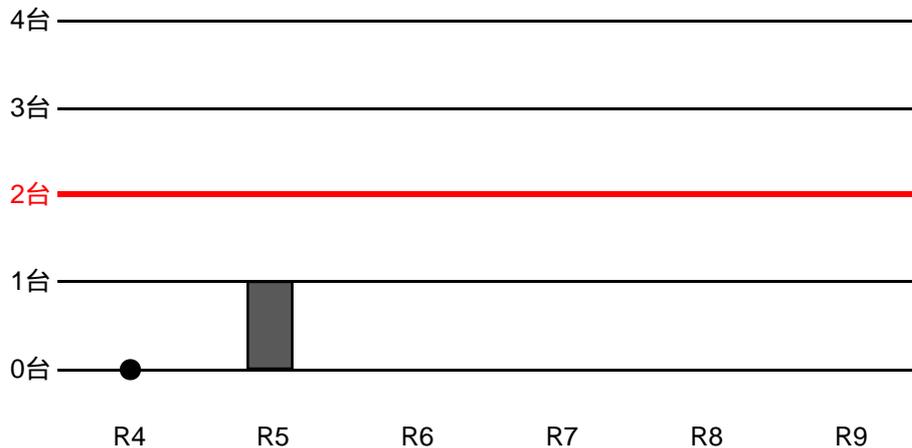
目標達成に向けた施策・取り組みの状況【令和5年度】

- ・令和6年3月に、ところバスにEVバス1台を導入した。
- ・令和6年度予算を要望 予算化

基準値・現在値・目標値

ところバス・ ところワゴンの EV・FCVの台数	基準値					目標値
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	0台	1台				2台

指標の推移



評価結果【令和5年度】

<b>A</b>	<p>【評価コメント】</p> <p>令和5年度、ところバスにEV 1台を導入し、目標達成に向けて順調に進んでいる。</p>
----------	--

評価基準 A：目標を達成している / 順調に推移している B：施策・取り組みの継続が必要  
 C：新たな施策・取り組みが必要 D：大幅な方向修正が必要 / 目標値の見直しが必要